

D 7/2

美しの門

■聖書 使徒行伝 3・1～10

■暗唱聖句 使徒行伝 3・6

今日の暗唱聖句を書いてみよう。

なまえ

“イエス・キリストの名”の力！

1、人々が教会に期待しているものについて、考えてみよう。

- 施しを求めている（お金をもらったり、あわれみを受ける）
- 人々の善意を求めている（人から優しくされたり、話を聞いてもらったり、親切を受ける）
- 牧師や神に立てられている人のメッセージを聞く
- 教会の主であられるイエス・キリストに出会う
- イエス・キリストの名によって使命を与えられ、神にあって生きる者としていただく
- その他

①美しの門のところに置かれていた人は、a～fの中でペテロたちに何を求めていますか。（複数解答可）

②あなたはa～fの中で教会に何を求めていますか。（複数解答可）

③生まれながら足のきかない男は施しがもらえると期待していましたが、ペテロとヨハネは彼の願った金銀を与えましたか。

④生まれながら足のきかない男は金銀をもらうかわりに、どうなりましたか。

⑤彼をそうしたのはだれですか。考えてみよう。

☐ ペテロとヨハネ ☐ イエス・キリスト ☐ その他

2、あなたは教会に来て、今どうなりましたか。当てはまるものをチェックしてみよう。（複数解答可）

- ☐ 人々から親切にしてもらい、助けてもらっている
- ☐ 生活に必要なものが与えられている
- ☐ 神様にたてられている人から神様の言葉を聞かされ、励まされている
- ☐ 自分がこのままでは滅ぶしかない罪人であることがわかった
- ☐ イエス・キリストが私の罪のために十字架におかかりになり、死んでくださったことを信じ、救われた
- ☐ 今イエス・キリストの名によって洗礼を受けたので、神様に感謝し、教会に集い、神様に喜ばれる生活をしたいと、願っている
- ☐ 神様から与えられた使命に生きている ☐ その他



☆あなたも「美しの門」のところに置かれていた人のように、イエス・キリストの名によって立ち上がり、神をさんびし、信仰生活に励みませんか。それが教会の使命であることを知って、神にあって生きる人としていただきませんか。

D 7/9 救いうる名

■聖書 使徒行伝 4・1～22

■暗唱聖句 使徒行伝 4・12

な
ま
え

今日の暗唱聖句を書いてみよう。

“イエス・キリストの名”の宣教^{せんきょう}

1、美しの門のところに置かれた生まれつき足のきかない男が歩けるようになり、人々がペテロ、ヨハネのまわりに集まってきたとき、ペテロは救い主イエス・キリストについて大胆に人々に語り始めました。

- ①そのとき、祭司^{さいし}たち、宮守^{みやもり}がしら、サドカイ人たちはどのように感じましたか。
- ☐ 自分も救われたいと感じた ☐ いらいらした

※あなたは家族や友だちにイエス様のことを話したことはありますか。
※そのとき、その人たちの反応はどうでしたか。

②彼らはなぜペテロとヨハネに対して、気をいらだてたと思いますか。話し合おう。

- 2、祭司^{さいし}たち、宮守^{みやもり}がしら、サドカイ人たちに捕らえられたペテロたちは、彼らに対して、「イエス・キリストの御名^{みな}以外に私たちが救いうる名はない」と大胆に語りました。人々はそれを聞いて不思議に思い、また返す言葉もありませんでした。なぜでしょう。以下の項目の中から2つ選んでチェックしよう。ヒント：8節、14節
- ☐ ペテロたちが人を引き付ける特別な話術^{せいいい}を身につけていたから
☐ ペテロたちは無学なただ人であったが、聖霊^{せいれい}に満たされていたから
☐ ペテロたちが律法の書を暗記し、また人の心の裏の裏をかいて論じる才能^{ろん}をもっていたから
☐ 生まれながら足のきかない男がいやされ、ペテロたちのそばに立っていたから
☐ その他

- 3、返す言葉もなかった彼らはペテロたちを脅^{おど}し、イエスの名によって語ることを禁じました。ペテロたちはどうしましたか。
- ☐ 語ることを禁じた彼らの言葉に従った
☐ 神に聞き従い、語るべきことを語らないわけにはいかないと言った



☆ペテロが大胆に語れたのは聖霊^{せいれい}に満たされ、イエス・キリストの名によって働いたことによります。あなたも自分ではなく主イエスにより頼^{たの}んで、私たちが救いうるたった一つの名である、イエス・キリストの御名^{みな}を宣べ伝えませんか。

■聖書 使徒行伝 5・1～11

■暗唱聖句 使徒行伝 5・4

なまえ

今日の暗唱聖句を書いてみよう。

せいれい 聖霊をあざむく つみ 罪

1、あなたは今日の聖書個所のアナニヤとサツピラが裁^{さば}かれた話を聞いてどう思いましたか。

- ☐ 神様は人の心を見抜いておられると思った
- ☐ 神様の裁^{さば}きは恐^{おそ}いと思った
- ☐ 今まで自分はいいい加減^{かげん}な考えをしていたと思った
- ☐ そんな裁^{さば}きなどありえないと思う
- ☐ その他



2、アナニヤとサツピラはなぜ神様に裁^{さば}かれたと思いますか。①～③について考え、話し合ってみよう。

- ① 彼らは地所を売る必要がありましたか。
- ② 彼らは売った代金を全額^{ささ}献^{ささ}げる必要がありましたか。
- ③ 彼らが代金の一部を持って来て、それが全額^{いっくわ}だと偽ったことについてどう思いますか。

3、アナニヤとサツピラのあざむきのことを知っていたのは、だれですか。

- ☐ ペテロ
- ☐ 教会の人々
- ☐ 神様
- ☐ 本人たちだけ
- ☐ その他

4、以下のことについて、話し合ってみよう。

- ① 神様を信じているはずなのに、なぜアナニヤとサツピラはうそをついてしまったのですか。
- ② あなたはそういう失敗^{しっぱい}はしないと思いますか。
- ③ 自分も同じ弱さを持っていることがわかったら、どうすればいいでしょうか。

☆教会は弱い人間の集団ですが、それだけではありません。そこは、イエス・キリストがご自分の血を流^{なが}して買^かい取^とった聖^{せい}なるところです。あなたはそれを知^しって感謝^{おそ}しつつ、畏^{おそ}れ敬^{うやま}うことを心がけますか。

D 7/23

じゅんきょうしゃ

殉教者ステパノ

■聖書 使徒行伝 7・51～60

■暗唱聖句 使徒行伝 7・60

な
ま
え

今日の暗唱聖句を書いてみよう。

聖霊に満たされた人

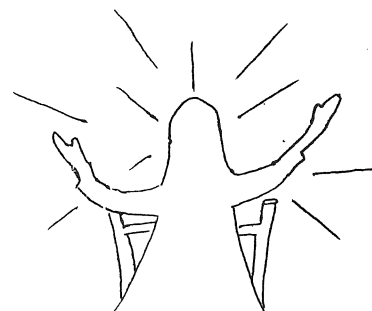
- 1、ステパノは祭司^{さいし}でもなく、使徒でもなく、エルサレム教会の^{いちしんと}一信徒でした。彼はどんな人だったでしょう。使徒行伝 6・5 を読んで書き入れよう。
() と () とに満ちた人
- 2、ステパノの弁明^{べんめい}はいつしか説教^{せつきょう}となり、その内容は、長い歴史の中でイスラエルの人々が、神に逆^{さか}らってきたことを厳しく批判^{きび}するものでした。(7・51～53)
 - ①人々はそれを聞いてどうしましたか。
 - a. 心がさされ、涙^{なみだ}を流して罪^{つみ}を悔^くい改^{あらた}めた
 - b. 何を言っているのかわからず、聞き流した
 - c. 心の底から激^{はげ}しく怒^{いか}り、ステパノにむかって歯^はぎしりをした
 - ②あなたはだれかに良くない態度や言動などを指摘^{してき}されると、どのような反応をしますか。
- 3、ステパノは聖霊^{せいれい}に満たされ、天を見つめているとき、何を見ましたか。
- 4、ステパノの言葉を聞いて、人々はどうしましたか。(7・57～58)
- 5、7・59～60にあるステパノの最後はだれかに似ていませんか。
- 6、今日の聖書箇所と6・15から、聖霊^{せいれい}に満たされた人の特徴と思うものを で囲み、聖霊^{せいれい}に逆^{さか}らう人の特徴を一線で消しましょう。

天使の顔のよう 預言者^{よげんしゃ}や主イエスを迫害^{はくがい}する 律法^{りっぽう}に逆^{さか}らう

主イエスに似る 迫害^{はくがい}されることがある 怒^{いか}りを表して歯^はぎしりする

主イエスを見ている

☆あなたも聖霊^{せいれい}に満たされたいですか。



D 7/30

サウロの回心

■聖書 使徒行伝 9・1～19

■暗唱聖句 使徒行伝 9・11

な
ま
え

今日の暗唱聖句を書いてみよう。

3つの声

1、＜心の声＞

パウロ（サウロ）は自分の良心に従って、正直に、自信を持って行動していました。

①彼は何をしていましたか。（9・2、13、14）

②あなたはパウロのように、自分の心の声に正直に行動する方ですか。

③彼の行動に間違いはありませんでしたか。



2、＜主イエスの声＞

パウロ（サウロ）は主の弟子に対する脅迫、殺害の息をはずませて、道を急ぐ途中、主イエスの「なぜわたしを迫害するの^{はくがい}か」という声を聞きました。

①あなたは自分が正しいと思い込んでいるとき、イエス様の声（聖書のみ言葉）を聞いたり、頭をなぐられたような感じ（自分が間違っていることに気づく）になったことがありますか。

②そのとき、どんな気持ちでしたか。またどうしましたか。

3、＜アナニヤの声＞

強い光で目が見えなくなったパウロ（サウロ）のところに、アナニヤという人が、主によってつかわれ、手をおいて祈ると、パウロ（サウロ）の目が見えるようになりました。

①あなたには神様のことを教えてくれたり、あなたのために祈ってくれる人がいますか。

②そのことで勇気づけられたり、助けられた経験がありますか。それはどんなことでしたか。

☆私たちは自分が正しいと思い込んでいるとき、自分の間違いに気づくことはありません。でもイエス様は聖書のみ言葉を通し、また人の助けを通して、私たちに間違いを気づかせ、新しい気持ちで立ち上がらせてくださいます。そのようなときには心を開いて、それらの声に耳を傾けませんか。

D 8/6 神様のひろーい心

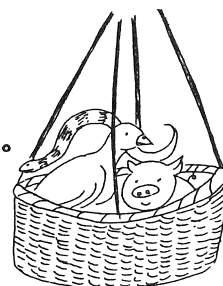
■聖書 使徒行伝 10・9～22

■暗唱聖句 使徒行伝 10・15

なまえ

今日の暗唱聖句を書いてみよう。

くべつ じゅよう 区別から受容へ



1、あなたにとって、むずかしいと思うのはどれですか。チェックしてみましょう。

- ☐ 嫌いな食べ物を食べること
- ☐ 気の合わない人とグループを組むこと
- ☐ 自分の習慣と違う人（たとえば：好きな音楽が違う、能力が違う、住む家が違う、年齢が違う、服装が違う、国籍が違う、言葉が違う人など）を受け入れること
- ☐ その他

2、ペテロは今まで食べたことのないものや、食べてはならないと思っていた地上の四つ足やはうもの、空の鳥など各種の生きものを「ほふって食べなさい」という天からの声を聞きました。

- ①もしあなたに今まで、いやでやったことのないこと、避けていたこと、またやってはいけないと言われてやらなかったことを、神様が「やってみなさい」と言われたら、何と返事しますか。
- ②その声が3度もあったらどうしますか。

3、ペテロは天からの3度の声を拒みました。その後、さきの幻は何のことかと思いめぐらしていると、今まで交わりを持ったこともない、避けていた異邦人であるコルネリオからの使者がペテロのもとに遣わされました。そのときペテロは彼らを招き入れ、話を聞くことになりました。そのことによってペテロは今まで知らなかった神様の思いを知ることになったのです。

- ①ペテロは、幻の中で今まで食べたことのない生き物を「ほふって食べなさい」と天からの声を聞きましたが、そう言われた神様の思いとは何でしょうか。考えて話し合いましょう。

※話し合ったあと、使徒行伝 10・28～29、34～35を読んでみよう。

☆あなたは人を差別したり、偏見を持って接したり、さげすんだりしませんか。ペテロに命じられた神様の言葉を自分への言葉として受け止めませんか。

◆聖書 使徒行伝 10 : 34 ~ 48

名前 [

]

◆暗唱聖句 使徒行伝 10 : 43

人をかたよりみない神様

① 使徒行伝 10 : 34 ~ 43 はだれがだれに語った言葉でしょうか。

() が () に



② あてはまる方に○をつけましょう。

ユダヤ人たちは

*ユダヤ人以外の人々に親切にしていた (Yes ・ No)

*律法^{りっぽう}をしっかりと守っていた (Yes ・ No)

*神様の愛と恵みはユダヤ人にのみ注がれると考えていた (Yes ・ No)

*神様から選ばれた民としてふさわしい生活をしていた (Yes ・ No)

③ ペテロがまだ語り終えないうちに何が起こったのでしょうか。() の中に言葉を書き入れよう。

聞いていたみんなに () がくだった。彼らは () を語って

神を賛美^{さんび}しはじめた。ペテロは彼らに () のバプテスマ^{ばすま}を授けた。

④ あなたは人をかたよりみたことがありますか？

☆ 神様は不公平なことをなさるおかたではないことが、よくわかりましたね。異邦人^{いほうじん}へも
救いの門が開かれ、私たちにも福音が届けられました。感謝！

◆聖書 使徒行伝 12 : 1 ~ 17

名前 [

]

◆暗唱聖句 使徒行伝 12 : 5

教会での祈り

① ヘロデ王はどういう王様だったでしょうか。



② [] の中に、起こった出来事の順に記号を入れましょう。

[] ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [] ⇒ []

* 鎖がペテロの両手からはずれ落ちた。

★ 主の使がそばに立ち、光が獄内を照らした。

◇ ペテロは二重の鎖につながれ、二人の兵卒の間に眠っていた。

♪ 御使がペテロのわき腹をつついた。

● 御使が「帯をしめ、くつをはきなさい」と言った。

¥ 番兵が戸口で見張っていた。

③ 12 : 1 ~ 17 の中で、多くの人が心を合わせて祈ったことがわかりますが、どことどこででしょう。場所を書きましょう。

() と ()

④ あなたは熱心に祈ったことがありますか？

ある人はどんなこと？ ()

ない人はこれからどんなことを祈っていこうと思いますか？

()

⑤ あなたは今までに、祈ったことがきかれた経験はありますか。

☆ お祈りの力ってすごいことがよくわかりましたね。「ひたすら」「熱心に」祈ること、祈り続けることが大切ですね。また、一人で祈ることもだれかと一緒に祈ることもどちらもしていきましょう。神様は必ず聞いていてくださいます。

D 8/27 まことの神様に帰ろう

◆聖書 使徒行伝 14 : 8 ~ 18

名前 [

]

◆暗唱聖句 使徒行伝 14 : 15

神様からの招き

① 正しいものに○をしよう。

*ルステラにいた足の悪かった人には、信仰があった？

- ・まったく無かった ()
- ・いやされるほどの信仰があった ()
- ・少しだけ信仰があった ()

*パウロが「自分の足で、まっすぐに立ちなさい」と言うとうなった？

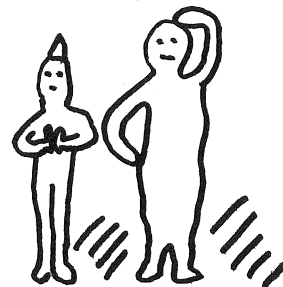
- ・まったく変化なし ()
- ・なんとか立ちあがれた ()
- ・踊り上がって歩き出した ()

② 人々はパウロのしたことを見てどうしましたか。() にあてはまる言葉を入れましょう。

バルナバを()と呼び、パウロを()と呼んだ。そして、
()の祭司が群衆と共に、()をささげようと雄牛数頭
と()とを門前に持ってきた。

③ 私たちのまわりには、神様として拝まれている「偶像」がありますが、どんなものがあるでしょう。

④ 本当の生ける神様と偶像の神とは、どういうところが違うのでしょうか。



☆ 私たちのまわりには、人間が作ったものを神様として拝んでいるものが多いですが、それらのものにはなんの力もありません。ましてや、人を罪から救うことなどできません。天地をつくれ、私たちをも造ってくださった本当の神様だけを信じていきましょう。

ろうこく

名前 [

1

☆ イエス様を信じるなら、家族みんなが救われるという約束に感謝かんしやですね。

D 9/10 ^{せんきょう}アテネ宣教（神様は目に見えない）

◆聖書 使徒行伝 17 : 16 ~ 34
◆暗唱聖句 使徒行伝 17 : 28

名前 [

]

偶像の町で

① どの場所のことを言っているのでしょうか。

*パウロがシラスとテモテを待つ間に歩いた町はどこ？ ⇒ ()

*ユダヤ人や信心深い人たちと論じ合ったのはどこ？ ⇒ ()

*人々が話しを聞くためにパウロを連れて行ったのはどこ？ ⇒ ()

② あなたはどう思いますか。YESかNOに○をしましょう。

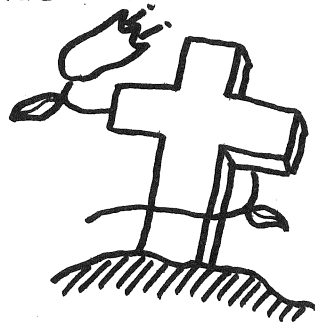
a, 神様は人間の作った建物の中に住まわれる。 YES NO

b, 世界と全てのものを造られたのは神様だ。 YES NO

c, イエス様を信じていたら、^{くうぞう}偶像を^{おが}拝んでもいい。 YES NO

③ ^{くうぞう}偶像とはどういうものだと思いますか。話し合ってみましょう。

☆ 神様はイエス様という目に見える形でこの世に来てくださいました。今は目には見えませんが、^{わたし}私たちの罪の身代わりとなってくださったイエス様を信じましょう。



D 9/17

コリント^{せんきょう}宣教(イエス様が味方)

名前 [

1

--

神様の働き

-

- ☆ 神様は私たちの弱さをよく知っておられ、その時その時、み言葉によって励ましてくださり、必要な助けをくださいます。感謝！

D 9/24

エペソ宣教(イエス様の力)

◆聖書 使徒行伝 19 : 11 ~ 22

名前 [

]

◆暗唱聖句 使徒行伝 19 : 20

イエス様のみ名

① エペソではパウロをとおして神様の力が非常に強く働いて、不思議なことが次々に行われました。どんなことが起こったのでしょうか。

② 正しい方を○でかこみましょう。

*ユダヤ人のまじない師たちは、イエス様のお名前を使っていましたが、イエス様を信じていましたか？

[信じていた 信じていなかった]

*イエス様のお名前を使って試していることを悪霊は知っていましたか？

[知らなかった 知っていた]

③ だれが正しいと思いますか。

A

イエス様を信じていたら、占いをしたっていいんだよ。

B

信じなかったら、占いの本を読んだりしてもいいんだね。

C

占いやまじないなどは聖書では良くないと教えているので、してはいけないんだよ。

☆ 悪魔は人の心を、占いやまじないで惑わそうとします。私たちは自分の力で悪魔に勝つことはできませんが、イエス様は悪魔に勝利されました。イエス様を信じるなら、イエス様によって悪魔に勝つことができるのです。

2006年度 牧羊者 第Ⅱ巻

ワークD解説 7~9月

7/2

- 私たちが求めているものと、神様が与えようとしているものがいつも一致するとは限りません。お金をもらおうと期待していた足の動かない男は、思いもよらないものをイエス・キリストの名によって、与えられました。彼は立ち上がり、踊り、神を賛美する者となりました。
- 1はイエス・キリストです。教会のわざは人の介入があっても、まぎれもなくイエス・キリストの名によるわざです。人々から崇められるべきお方は主イエスであって、ほかの誰^{だれ}も崇められてはなりません。

7/9

- 反キリストの霊は、キリストに対していつも抵抗しています。ですからイエス・キリストの名を宣教しようものなら、その人は大きな抵抗を受けます。
- ペテロが大胆に語り得たのは、聖霊の働きに他なりません。人間の能力や才能だけでは果たし得ない働きです。

7/16

- 3はペテロと神様です。神様は使徒であるペテロに対して、何らかの形で彼らの罪を示しておられたのです。
- アナニヤとサツピラの罪は、神不在の魂にしのびこむ弱さと、誘惑ではないでしょうか。人間中心主義が横行すると、このような忌まわしい罪も横行します。神を畏れ敬うことをおろそかにしてはなりません。

7/23

- ステパノのイスラエル人に対する痛烈な批判は、命に至る悔い改めに至ることなく、彼に殉教の死をもたらす投石となりました。天において立ち上がり、彼を迎えられるキリストのお姿を思い描きます。
- 私たちは批判や指摘に対して非常に弱い者です。往々にして受け入れられず、抵抗します。しかし後にその批判や指摘がもっともであると気づいたならば、素直に認めましょう。聖霊が必ず大きな助けとなってくださいます。

7/30

- 私たちは様々な声を耳にして生きています。自分の心の声（考えや信念）、他人のアドバイス、神の声（聖書のみ言葉）…。
- 信念と信仰は違います。信念の強い人は世の中では尊敬を受けるかも知れません。しかし信念は、時には神の声を聞くことの妨げとなります。それに反して信仰は神の言葉を受け入れます。
- 神の声はサウロがもっていたような強い信念をも砕き、造り変える力があります。あなたは信念の人ですか。それとも信仰をもって主に信頼し、主に従う人ですか。

8/6

- ペテロは今までの習慣になかったものを、食べることに大きな抵抗を感じました。私たちもペテロと同様に、今までの習慣がないことには抵抗を感じます。しかし神は受容することを求められるときがあります。
- 主イエスは受容する人の先駆者で、あなたも私も受け入れてくださいました。

8/13

- ①②③聖書をよく見ながら、書き入れましょう。
- ④他人に対して、差別をしたり、不公平な扱いをしていないかを考えさせましょう。

かたよりみない神様によって異邦人である私たちにも福音が伝えられ、救いの道が開かれたことに目を向けさせましょう。

8/20

- ①②③聖書をよく見ながら書き入れましょう。
- ④たとえ熱心でなくても何度か祈った祈りを思い出させてみましょう。祈りの課題を具体的なものとして考えさせましょう。
- ⑤小さなことでもよいので思いださせてみましょう。

子どものときから祈ること、祈り続けることの大切さを教え、祈りはきかれるということを教えましょう。

8/27

- ①②聖書をよく見ながら書き入れましょう。
- ③特に身近なものを挙げさせ、神様よりも優位に置いているものがないかを考えさせましょう。
- ④みんなで話し合ってみたらよいでしょう。

人が作ったものに心を寄せるのは空しいことであり、人を造られたまことの神様に寄り頼んでいくことの大切さを教えましょう。

9/3

- ①②③聖書をよく見ながら、書き入れましょう。
- ④救われるためにはどうすればよいかを考えさせましょう。自分自身が今、救われていると確信しているかということも問うといいでしょう。
- ⑤具体的に家族の名前を挙げさせ、家族のために祈ることを教えましょう。

主による救いはその人だけに止まらず、家族にも及ぶことに望みを抱かせましょう。

9/10

- ①聖書をよく見て書き入れましょう。
- ③日本にもたくさんの偶像があるので、そういう中から思いつくものを挙げさせ、人も偶像になっていないかを考えさせましょう。

神様は目に見えなくても確かにおられ、いつも共にいて、励まし、力を与えてくださることを示しましょう。

9/17

- ①②聖書をよく見て、書き入れましょう。
- ③元気がなくなる時はどういう時か、どうしてそうなるのかディスカッションするのもいいでしょう。
- ④励ましを受けることの喜びを思い出させ、神様からの励ましを常に求める者になるよう促しましょう。
- ⑤簡単なことでよいので、みんなで考えさせましょう。

み言葉こそが最大の励ましであり、常にみ言葉に接することができるような工夫をしていくことを促しましょう。

9/24

- ①②聖書をよく見て書き入れましょう。
- ③おもしろ半分にでも占いやまじないをしてはいけないことを強調しましょう。

悪魔は巧みに子どもたちの心を惑わそうとしてきます。悪しきものから離れることを教えましょう。